

すいせん



発行者 須崎協議会 文化厚生部
下田市須崎一七九番地
須崎漁民会館内
電話 0558-(22)8056

題字: 梅田弥祐先生

「須崎乙女校」の会より お知らせより お願い

11月25日にバス停横のロータリーに「須崎乙女校」の幼木を植えました。実は5月にも植えたのですが、切られてしまい、今回再度の植栽です。

この桜は公益財団法人「日本花の会」から認定された貴重なもので、12月下旬から2月中旬まで長期開花しています。

お台場の原木から接ぎ木し、爪木崎にあった温泉で大切に育てた木です。



この「須崎乙女校」が無事成長し、可愛いピンクの花を咲かせるよう、どうか皆様お見守りください。

須崎で見られる野鳥

丑嶋 久雄

8, ヒヨドリ(鶉)

写真は我が家のキンカンの木に掛けた防鳥網に絡みついたヒヨドリです。とにかく木の実が好きらしく「ヒヨコ」「ヒヨコ」と甲高く鳴きながらキンカンを突いたり、千両の実を食べたりしています。

和名はこの鳴き声に由来するという説があります。体長は約27cm、くちばしは黒くて先がとがり、頭部から胴体は灰色の羽毛に覆われています。頬に褐色の部分があり、よく目立ちます。また、翼や尾羽は灰褐色をしており雌雄同色です。日本では都市部にも住んでいる一般的な鳥ですが、日本からフィリピンくらいまでのアジア圏にだけ生息しています。快適な環境を求め、冬は南へ夏は北へと群れで移動する漂鳥です。

主に樹上生活をおくりめつたに地面には降りませんが、ときに集団で畑に現れイチゴ、ミカンなどの農作物を食い荒らすこともあって、害鳥である本種は煩瑣な手続きなしで駆除できるよう「狩猟鳥」に指定されています。インターネット上には「ヒヨドリの調理法」まで載っていました。写真のヒヨドリは・・・食べませんでしたよ。

その昔、一ノ谷の戦いで、源義経が平家の軍勢を追い落とし深い山あいを「ひよどり越え」というのも、そこが春と秋ヒヨドリの渡りの場所になっていったことからだそう。



年の瀬を迎えて

区長代理 森田 学 (6組 そばや隠居)

海岸沿いを散策すると、まるで黄色の絨毯を敷きつめたようにつわぶきとインギクの花が満開です。爪木崎海岸の水仙も咲き始めました。こうした風景を見ると、季節は晩秋から初冬に移っていることを感じます。

10月中旬より、日本では全国的にコロナ感染者数が減少し、市内にも観光客の方々が多く見られるようになりました。少しづつ観光客の景気が上向きを願うばかりです。一方、11月の天気は連日強風や波浪注意報が出され漁に出る日数は数えるほどだっただと思えます。加えて、小笠原諸島の海底火山噴火に伴い沖縄や奄美地方に漂着した軽石が海流に乗って伊豆諸島の神津島や三宅島にも流れきてきている状況です。この軽石が伊豆半島南部にも漂着しないことを祈るばかりです。

さて今月の区報「すいせん」では、区内の近況報告をいたします。

① 区内一斉清掃活動のお礼

10月17日(日)の区内一斉道作りには雨模様の中、区民の皆様方に協力をお願いすることができました。生活道路に加えて使用頻度が少ない草木で覆われていた農道もきれいに整備されました。来年の道作りへのご協力もよろしく願います。

② お台場跡までの歩道と周辺の整備と恵比須島整備の進捗状況について

お台場周辺は11月中旬の時点では、下田市から発注を受けて外岡組が伐採・間伐作業を行っています。その後、丸三工業が本格的な整備工事に入る予定です。恵比須島の整備は外岡組が伐採・除草作業を行いその後丸三工業が本格的な整備に入る予定です。

③ 須崎遊歩道について

11月24日の伊豆新聞一面に静岡県立大学情報経営学部の先生と学生たちが地元下田高校生を招いて恵比須島の散策・フィールドワークの様子が掲載されました。この活動が今後の課題を見出し、恵比須島の魅力向上に発展していくことを願っています。なお、恵比須島への橋を渡って左側歩道の側面が一部落石している箇所があり、下田市観光交流課と土木課が調査し片付けました。しかし、今後も落石の危険がありますので、恵比須島を案内する場合は一言「落石注意」の声掛けをお願いします。

④ ボランティア団体による海岸清掃

日産グローバルという会社の方々が11月に2回に分けて、九十浜海岸・爪木崎海岸ボランティア清掃をしてくださいました。爪木崎海岸の清掃は駐車場職員も行っています。現在、2つの海岸ともきれいな状態です。しかし、残念なことに爪木崎海岸(パンパスタス付近)ではパーベキューをしたような形跡も見受けられます。観光の方々にはマナーを守って頂きたいと願うばかりです。

⑤ 旧須崎保育園施設について

現状は、土地は須崎財産区、建物は下田市の所有物件です。平成元年に旧須崎保育園施設の利用方についてアンケート調査が実施さ

⑥ 令和3年度 水仙まつりについて

令和3年12月20日(日)令和4年1月31日までの期間、第56回水仙まつりが開催されます。コロナ感染者数が激減しているとは言え、完全にコロナは収束していませんので、関係者はもちろんのこと、来場者の方々にマスク着用、ソーシャルディスタンスのお願いをします。なお、来場者の駐車場は、料金所前駐車場と天駐車場のみとなります。下の浜(漁協の天草干し場)への駐車は、過去に事故やトラブルがあったことや浜の保護等を考慮して関係者(売店を含む)の車両のみとしました。12月20日オープンニングセレモニーでは、観光協会によるイベントが用意されています。合わせて、須崎区から、開催期間中(12/20・21/9:11/16:1/23の日曜日)に池之段煮味噌の無料サービスを行います。

令和3年も残すところ一か月を切りました。南アフリカなどで確認された新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染拡大が心配されますが、令和4年はコロナが収束し、今までのようなエネルギーが須崎の漁業・観光業にダイナミックに展開される年になることを願っています。区民の皆様にとりまして良い年になるようにお祈りいたします。

ご意見募集

市、区などへの要望、ご意見、ご質問

身近な話題

「わか家の自慢」何でも結構ですお寄せ下さい。

須崎協議会事務所

11月の捕獲情報

1日(月) 括り農 1頭 10匹メス
須崎御用内にて
6日(土) 括り農 1頭 60匹メス
浜崎小上のアイキクリン近
21日(日) 括り農 1頭 40匹メス
法田寺跡近くの山中にて

須崎の歴史を訪ねて・・・【久七の漂流】
 「鳥島漂着物語(小林郁著)」より抜粋⑧
 出発

一同は目指す方向を占った。乾(北西)と出たので南風の吹く日待ち続けた。風が良い方に吹き始め、14人は神仏に祈りながら船を海に下ろした。一同は島で死んだ7人の名を叫び「船は浮いたぞ、乗れ」と死者の霊魂に呼びかけた。死者も一緒に帰ろうと云う気持ちであらう。14人は心を一にして掛け声を合わせ櫓を必死に漕いだ。夕方には鳥島は見えなくなつたが恩愛深き島に感謝をした。

5日目の夕方前方に島が見えて来た、ここは八丈島の南にある青ヶ島であった。この時青ヶ島噴火で島民は避難し家は9軒9人しかいなかった。島の北部に「カグラサン」(ロクロ/昔は須崎

にも沢山あった)で船を引き上げてもらった。一同は神仏を伏し拝み涙ながらに島民に年月を聞くと、寛政5年6月13日と教えてもらった。青ヶ島には25日間いた。

7月8日朝5時に八丈島に出帆した。その日の3時に八丈島八重根湊に入った。14人は島役所に連行され調べられた。料理が出されたが米も味噌汁も20日もその味が判らなかつたがやっと思ひ出したのである。役所に願ひ出、伸び放題の髪や髭を切り、月代(さかやき)を結び日本人の姿に戻つたことは夢の様だつた。八丈島民からは米・味噌・野菜・食料品・日用品など多くを頂き島民の人情の厚さが大変有り難かつた。

八丈島には80日滞在し、9月4日江戸に向つ。北上し9月7日式根島を出発、夕方伊豆の須崎湊に入港した。須崎には10日も滞在したが久七に身内や知人と逢ふことは許されなかつた。下田の海善寺の末寺である。

久七を乗せたまま9月17日に須崎湊を出帆し、18日に浦賀に入港、浦賀奉行は口書を作成した。20日に浦賀を出て9月22日江戸鉄砲洲に到着した。取り調べは3回あつた。

次に勘定奉行から10月20日〜27日まで5度の審問があつた。10月27日14人は浅草の観音様にお参りの後、別れの宴会をしそれぞれの国に帰つた。久七は須崎湊に10日もいた。幕府の御赦免船であるから大きな船であつたらう。赤島附近に停泊した船からは美家の「宇右」が見える。久七は船から降ろされなかつたであろうが、須崎の人々、久七の家族親戚は伝馬で船の周りに行つたであらう。久七の喜びは如何ばかりであつたらう。おわり

次号は編集後記です。
 山三 土屋 磯雄

この素晴らしい故郷から学ぶ

浜崎小学校校長 菊池 正仁

学校の水仙が咲き始め、透明感のある甘い香りが届いてくるようになりました。先日は強い西風が続き、冬の訪れが感じられるようになってきました。それでも子供たちは寒さに負けず元気に登校し、全員が出席する日が続くようになってきました。本日につれいことです。新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着きを見せ、校外学習を再開したことを先月お伝えしました。今月はさらに活動を広げ、子供たちは机の上では学べない本物にふれることや体験をすることができました。このひと月で四つの学年が須崎地区で、校外学習をさせていただきました。それだけ、地域に魅力があり、子供たちに伝えていきたいと思えるような素材にあふれているとも言えます。

町探検で二年生が恵比須島に行きました。指回灯や恵比須神社などグループで回りながら、決められた時間に集合するまで自分たちで考え、協力しながら行動していただきました。千疊敷越しに広がる海を見ながら、おいしくお弁当をいただきました。その後は声を掛け合つて潮だまりで楽しみました。その翌日の五日には三年生がほづえいさんと干物づくり体験をさせていただきました。子供たちも目を見張る素晴らしい包丁さばきを見せていただいた後に丁寧な説明もあつて、子供たちは無事に五枚の干物に開くことができました。そこで白浜小学校との交流もできました。終わつた後は少し時間にゆとりがあつたので恵比須島に向かいました。白浜の子供たちにも地区の自慢を見せようと思つたので、三年生は二十四

日、須崎御用邸にもお伺いさせていただきました。続いて八日には六年生が恵比須島でジオ学習をしました。当日は弁天島も見学して、その成り立ちの違いを自分の目と手で実感することができました。何万年、何十何年前にこの地で起きた出来事に思いを馳せることができました。各学年とも、恵比須島に寄らせていただいたのですが、そのねらいには違いがあります。「地元で生息する海の生き物にふれ、自然の豊かさを実感する」「実際に足を運んで地区のよさや自慢を見つめる」「素晴らしい景観の下で交流や親交を深める」「世界的に知られている貴重なジオから、この地の成り立ちを知る」さらに学びを深められそうなのがたくさんあります。この子供たちは下田中学校に進学します。小学校でできる限り地域のよさを感じ取り、故郷に誇りを持つ心を育てていきたいと思ひます。そのきっかけが身近にあることは本当にすばらしいことだと思ひます。

〈11月の学校の様子〉

11/4 町探検 2年生



11/5 干物づくり体験 3年生



11/8 ジオ学習 6年生



十一月の実施行事

- 2日(火) 高齢者フレイル測定と運動
- 3日(水) 【文化の日】
- 5日(金) 回覧日
- 6日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 9日(火) リサイクル分別収集
- 11日(木) 第5分団消防放水演習
- 17日(水) 区協議会定例会
- 19日(金) 古着回収
- 20日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 23日(火) 【勤労感謝の日】
- 24日(水) リサイクル分別収集
- 29日(月) 下田岳精舎詩吟大会(9時)
- 大腸がん検診

十一月の予定行事

- 1日(水) 古着回収/消防団夜警開始
- 3日(金) 回覧日
- 4日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 5日(日) 地域防災訓練
- 8日(水) リサイクル分別収集
- 9日(木) わらいの輪
- 10日(金) 区協議会定例会
- 15日(水) 胃・肺がん検診
- 16日(木) 古着回収
- 18日(土) 市特定健診(大腸・肺がん)
- 20日(月) カイロ健康施術会(憩の家)
- 22日(水) 爪崎水仙まつりオープン
- 31日(金) リサイクル分別収集
- 【E-Sportsフェス】

11月の行事

- 1日(土) 【元旦】
- 2日(日) 船主会船祈祷及び船主総会
- 5日(水) 古着回収
- 7日(金) 回覧日
- 8日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 10日(月) 【成人の日】
- 11日(火) リサイクル分別収集
- 13日(木) 区協議会定例会
- 14日(金) 木区協賛(子供会)
- 19日(水) 市政50周年記念式典(文化会館)
- 22日(土) 古着回収
- 25日(火) カイロ健康施術会(憩の家)
- リサイクル分別収集

十一月の行事
 お梅やみ申し上げます

22日 田中くみ子さん(88歳) 助治